

# 「休日は専業主婦も休みたい」

## Kitchen Annual Report

### おいしい暮らし研究所 「キッチン白書2017」

クリナップ株式会社

クリナップは日本ではじめてシステムキッチンを製造、販売したキッチンメーカーとして、キッチンにまつわる生活者の実態調査を継続的に実施しています。

調査を実施した「おいしい暮らし研究所」は、キッチンを通じ、楽しいふれあいづくりに貢献するために、生活者の食や暮らしに関する情報の収集、調査・分析を行っているクリナップの研究部門です。クリナップが「家族の笑顔を創ります」という企業理念の下で、もっと食を、家族を、暮らしを深く知り、考えていくために必要な情報収集を行っています。

このたび、2016年4月に全国の20代～70代、同居家族がいる既婚主婦を対象に、基本属性、背景情報、調理器具、食器、食品類などについてインターネットによる調査を実施、それを「キッチン白書 2017」としてまとめました。

#### ○キッチンのレイアウト

キッチンのレイアウトについては、持家では「対面Ⅱ型」が主流。以外の住居形態では「壁付Ⅰ・Ⅱ型」が主流、それに続くのが「L型キ」ッチンでした。



#### ○調理行動—料理のジャンル

作る料理のジャンルは年代を問わず和食が1位。ただし若年層においては和食の割合が減り洋食が増える。料理作りにこだわる人と出来合いの惣菜などを活用している人とは、手作り派が和食をつくる機会が多く、洋食の割合が少ない傾向にあるようです。

調理時間について、共働き主婦は、平日は時短調理派が多いが休日はじっくり調理派と、まとめ調理派に変わるようです。専業主婦は休日は調理も休みたいと思っている。今回の実施調査では、共働き主婦と専業主婦での調理時間は平日と休日で反比例するという面白い結果がでました。つまり、主婦も休日は夕食準備をお休みしたいという思いが強いのでしょう。



## ○整理収納—収納スペースの過不足感

マンション、壁付I型キッチンに収納スペース不足を感じている人が多い。キッチンスペースについては半数以上が足りないと感じていました。住居形態別の比較では、やはり一戸建てに比べマンション、アパートなど集合住宅で収納スペース不足を感じている割合が高くなっています。

キッチンレイアウトとの関係では、壁付けキッチン、特に「壁付I型」で「足りない」と感じている人の割合が高くなります。

保有物の断捨離＝60代以上では子供の独立などがきっかけとなるのか、大型の調理器具の保有を見直し、キッチンでも断捨離。大きくて場所をとる調理器具は、保有する人が減っていました。必要な分だけのこして保有数を減らす傾向もみられました。



## 「キッチン白書 2017」まとめ

今回調査した調理行動、調理器具の保有においては、いくつかの傾向が明らかになりました。①作る料理は和食が1位。ただし若年層は洋食が増える傾向。共働き主婦は、平日が時短調理、休日はじっくりorまとめ調理。一方専業主婦は休日は調理を休みたい?③マンションなどの壁付I型キッチンに収納スペース不足を感じている。④60代以上で大型調理器具の保有を見直す、断捨離傾向。⑤よく使うかどうかで鍋の収納場所などを効率よく使い分ける。⑥キッチンにある調理以外で使うもの(サプリメント、文房具、医薬品など)を上手に置くことがすっきりしたキッチンをつくるポイントになるでしょう。

